

学校名	美里町立美里中学校
所在地	児玉郡美里町駒衣115-1
電話	0495-76-0379

1 本校の概要

本校は県北に位置する、学級数8(+特支2)、生徒数256名の中規模校である。美しい自然に囲まれた万葉情緒あふれる町で、昔ながらの三世代同居の家庭も多い。本校は町で一つの中学校であり、地域の方たちの学校教育への関心も高い。光をふんだんに取り入れたデザインの校舎は機能的で、校庭は各運動部の練習スペースも確保できる十分な広さを有する。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 読書活動の充実
- ・ 地域との連携

(2) 実践の概要

ア 朝読書の実施

月曜、水曜、金曜の登校から朝の会までの10分間を「朝読書」に設定し、各自が準備した本を静かに読む。落ち着いて朝の時間を過ごすことが、授業に集中することにつながっている。

本年度から、学期ごとに朝読書を図書室で行う取り組みを始めた。クラス単位で行い、図書委員が趣旨を説明した後は図書室で過ごす。本を探すもの、朝読書用の本を借りるもの、本を紹介するもの、各自が用途に合った使い方ができ、図書室の利用につながった。



イ 図書委員会の活動

図書委員会の主な活動は図書の貸し出しと図書の紹介である。図書室の開架は月・水・金の週3日である。給食時に活動を知らせる放送を定期的に行っており、1学期は「お薦めの本」、「課題図書」を紹介した。2学期は生徒朝会を体育館で行い、図書室にある様々なジャンルの本を目的別に紹介した。その他、ポップやポ

スターの作成をして廊下からも本が見える工夫をしている。

ウ 美里町図書館「森の図書館」との連携

委員会活動の時間を利用し、町立図書館に図書委員が行き、図書委員お薦めの本を10冊選ぶ。団体貸出しの手続き後に、各教室に配架する。選書に際してはタブレットでアンケートを取ったり、朝の会で借りてほしい本を挙げるよう呼びかけたりと各クラスで工夫が見られた。図書館のスタッフからもアンケート結果を知りたいと声を掛けられ、中学生のニーズを知るきっかけとなった。

エ 図書室の環境・整備の充実

図書室は全面ガラス張りで太陽光が十分に入り、教室2クラス分と広く快適な空間である。図書の貸し出しはバーコードで管理され、機能的である。

新刊は入口近くに配架し、生徒が手に取りやすいようにしている。また、創作部が作成したNDC表示を掲示した。分かりやすいイラスト表示で好評である。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

図書委員会の活動から、図書室の利用方法や新刊図書を知らせることができた。朝読書時の図書室利用は本を手に取り、借りる生徒が増えるきっかけとなった。校内を見ると朝読書の時間以外にも、休み時間や給食の前後など読書をする生徒が増えたように思う。学習漫画を読破するために昼休みに図書室を訪れる生徒も増えている。

(2) 課題

図書の貸し出し数は昨年度よりも増えたが、朝読書時の貸し出しが増えたためである。昼休みに自主的に図書室を利用する生徒は固定されている。朝読書時以外に訪れたことがないという生徒もまだまだ多い。本を選ぶとき、何か知りたいときに図書室が頭に浮かび、気軽に訪問できるような工夫を今後も考えていきたい。